

気球にのつてどこまでも

東 龍男
吉 敏州
曲詞

時にはなぜか大空に

旅してみたくなるものさ

気球にのつてどこまでいこう

風に乗つて野原をこえて

雲をとびこえどこまでもいこう

そこに何かがまつているから

ランラン……

時にはなぜか大空に

旅してみたくなるものさ

気球にのつてどこまでいこう

星をこえて宇宙をはるか

星座の世界へどこまでもいこう

そこに輝く夢があるから

ラララ……